

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第300号

2022(令和4)年8月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

大切な図書館を支え育てて協働する
「港北図書館友の会」



(港北図書館友の会の皆さん)

- P.2 特集「港北図書館友の会」
- P.3・4 「わがまち港北」スポット 樽町地域ケアプラザ
- P.5 「楽遊学 第300号」発行記念 特別寄稿
- P.6 遊学スポット（港北区内・周辺のイベント情報）
『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集
区民活動支援センターからのお知らせ

「港北図書館友の会」は、平成22年当時の港北図書館長から、港北図書館30周年事業として発案された「港北図書館と地域で活動している団体との懇談会」から始まった活動です。毎月1回、図書館司書を交えて図書館と地域の情報交換を行っています。みんなが集い合う理想的な図書館を目指し、活動する「港北図書館友の会」取材しました。

港北図書館の文化活動を支え、協働する

共読で読書を楽しみ、知識を深め合える「読書サロン」

毎回テーマを決めて、各自が読んだ本について参加者全員で語り合う「読書サロン」いわゆる“共読(きょうどく)”と呼ばれる読書法を用いて、読書をより深く楽しむ場を提供しています。

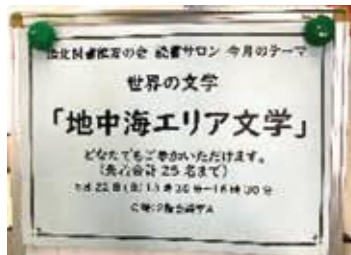
取材当日のテーマは「地中海エリア文学」でした。本の内容、作者や歴史的背景、読後の感想などを自分の言葉で表現し伝えることで、お互いの知識を高め合っています。

「読書サロン」は毎月第4日曜日の午後開催。どなたでも参加可能です。見学もできるそうです。

※次回のテーマはP6遊学スポットに掲載しています。



活動風景



会場入口

古本市での販売と無料配布「港北図書館蔵書支援プロジェクト」

港北図書館前広場で毎年開催されるチャリティーバザー「らくらく市」に古本市を出店。そこで得た収益で、港北図書館に新刊本を寄贈しています。寄贈する本は、区内の書店から順番に購入しているそうです。



贈呈式



寄贈本

なるほど！疑問解決につながる医療講演会(勉強会)

港北図書館友の会代表がクリニック院長というご縁で、医療に関する講演会(勉強会)も実施しています。「感染症予防対策」や「ジェネリック(薬)」など、区民のニーズに応えるべく、講演内容や講師などをメンバーで話し合っています。医療講演会に参加することで、様々な疑問も解決し、新たな知識が備わると好評です。

映像で港北区を知る「港北ふるさと映像上映会」への協力

区内の活動記録や、区民が制作した映画など、後世に残しておきたい貴重な記録などを上映し、港北区の魅力を伝える「港北ふるさと映像上映会」にも協力をしています。

6月は、毎年春と秋に開催されるらくらく市を記録した「らくらく・街・15」(1999年ワークショップ・ピリオド制作)が上映されました。関係者の若かりし頃の姿が映しだされるたびに、

歓声が上がり、あちこちから当時を懐かしむ声が聞こえてきました。



上映中の様子

他にも、港北おはなしネットワーク、図書修理ボランティア、港北図書館自主事業企画などにも協力・支援しています。

「港北図書館友の会のみなさんが、港北図書館を支え、育ててくださる存在でとてもありがたいです。」との、図書館司書のお話がとても印象的でした。

港北図書館友の会

<https://sites.google.com/site/kouhokutosyokan/>



祝！楽遊学第300号発行 港北図書館友の会よりお祝いメッセージをいただきました。

『楽遊学』によって、様々な学習の機会が増えるのは、港北区の地域文化の発展のために素晴らしいことだと思います。これからさらに400号、500号が発行される事を心より願い待ち望んでおります。

港北図書館友の会 八木 康之

12月で開所20周年を迎える樽町地域ケアプラザ。これまで、高齢者サロン「ふれあい広場花しょうぶ」多世代交流スペース「みんなのたまり場」等、誰もが安心して暮らせる地域づくりの拠点として、さまざまな福祉・保健サービスの提供を総合的に行い、地域の福祉保健活動を支援してきました。

地域ケアプラザ設置の目安は、概ね中学校区域(人口規模2~3万人)に1館となっていますが、樽町地域ケアプラザの対象地域は、大曽根・師岡・樽町・綱島の4地区で、人口は市内でもトップクラスの8万人台となっており、横浜市のモデル事業として令和元年から綱島に分室が設置されています。



樽町地域ケアプラザ 入口

住所:横浜市港北区樽町1-22-46
 電話:045-532-2501(代表)
 F A X:045-533-0025
 開館時間:月曜日~土曜日 9時~21時
 日曜日・祝日 9時~17時
 休館日:毎月第4月曜日、年末年始
 交通:東急東横線「綱島駅」下車 徒歩10分
 バス停「菖蒲園前」下車 徒歩1分
 ※ 貸室の利用にあたっては、施設にお問合せください。

公式ホームページはこちら

<https://www.y-kyousei.or.jp/tarumachi-cp/>



いきいきと、区民の活動やボランティアの場に

地域ケアプラザは、地域の福祉保健や支え合いを目的とした、区民の自主的な活動の場としても活用されています。

取材した日(6月)は、2階庭園や敷地内のお花の手入れをしている「ガーデンサークルほほえみ」の活動がありました。主に、地域ケアプラザ主催『園芸教室』の卒業生が、月2回集まって作業をしています。「もう10年以上やっているかなあ、おかげさまで健康だよ」という方や、「まだまだ新米だけど、パートをやめた後も社会的なつながりがあって心強い」という方も。

「よこはまシニアボランティアポイント」※の活動に該当するため、ポイントがたまるのもやりがいにつながっているようでした。

活動は毎月第1・3木曜日の午前中。初心者も大歓迎とのことですので、興味のある方は上記までお問合せを。



「ガーデンサークルほほえみ」の活動風景
 この日は新しい苗を植え付けました。

※「よこはまシニアボランティアポイント」とは、満65歳以上の市民が、登録研修会へ参加し、登録をしてケアプラザ等でボランティア活動を行うと、ポイントが得られる仕組みです。たまったポイントは寄附・換金ができます。

ふらりと立ち寄れて、交流の場に

今年の6月、2階多目的ホール前に、絵本から趣味の本、小説などが揃う小さなライブラリー「たるちゃん文庫」がオープンしました。手作り感あふれる親しみやすい雰囲気のあるたるちゃん文庫をきっかけに、多くの皆さんにお立ち寄りいただき、新たな交流へも広がることを期待されています。

貸出は「一人3冊、2週間まで」 ※貸出日は施設に確認を。



©港北区ミズキー

樽町地域ケアプラザ分室

「つなしま相談室」・「つなしま交流室」

(地域包括支援センター)



「つなしま相談室」では、綱島地区にお住まいの方を対象に、介護保険の申請代行手続き及び介護保険以外のサービスの相談、横浜市の行政サービス(あんしん電話や紙おむつ給付など)の代行申請等、介護に必要な情報の提供や、関係機関との連絡調整を行っています。

また併設する「つなしま交流室」は、地域の老人会や主任児童委員主催のサロン、ボランティア団体等の活動場所として利用されています。※貸室利用は、樽町地域ケアプラザに登録があり、交流室の利用に該当する団体に限ります。詳細は施設(→)へお問合せください。



住所:横浜市港北区綱島西2-11-5
 シュロスオータニ綱島2F
 電話:045-534-1220 FAX:045-545-1020
 開館時間:月曜日～金曜日 9時～17時
 休館日:土曜日・日曜日および年末年始
 交通:東急東横線「綱島駅」下車 徒歩5分

【つなしま分室ができるまで】平成28年4月 出張相談所「スペースつなしま」を、地域ケアプラザ独自の取組として綱島西に開所
 →令和元年7月 分室「つなしま相談室」を、横浜市のモデル事業として綱島東に設置。同時に出張相談所「スペースつなしま」は「つなしま交流室」とあらためられ、リースペースとして団体の活動に活用。
 →令和3年12月「つなしま相談室」(綱島東)と「つなしま交流室」(綱島西)が、ひとつになって綱島西に再オープン！

地域ケアプラザ主催

ご近所の先生シリーズ「ニットカフェ つなしま」

取材時の6月、つなしま交流室では、地域の編み物愛好者に毎回大人気の『ニットカフェつなしま』が開かれていました。講師は地元綱島・旧駅ビルで半世紀以上手芸店を開いていた元経営者ご夫婦。白い上衣をペアで着こなし、参加者を回りながら、「ここはどうしたら？」という質問に的確に応じていました。お店を開いていた当時の、お客さんへの編み物相談が再現されるようなあたたかみがありました。



～聞いてみました～
 (楽遊学)「参加の動機は？」
 (参加者)「家で一人だとなかなかやる気にならなくてね～」
 (参加者)「チラシを見て、^{あかしや}亜華絲屋のご店主夫妻にまた会えるわ！と嬉しくなって」

1時間たったところで、肩こりや目の疲れを取る体操タイム。音楽を流し「腕を伸ばして～」との職員の声に合わせてリフレッシュ。体操指導はお手のもの、さすがは地域ケアプラザ主催の教室でした。



祝 樽町地域ケアプラザ 20周年おめでとうございます！

平成14年12月、区内6カ所目の地域ケアプラザとして誕生した樽町地域ケアプラザは、今年開所20周年を迎えます。20周年記念行事は11月13日に予定しているとのこと。詳しくは、ケアプラザの広報紙(←毎月発行)をご注目ください！！



『楽遊学』300号によせて



ひらい せいじ
平井 誠二氏

大倉精神文化研究所 理事長
シリーズ「わがまち港北」著者



イラスト by バンフーまなび塾 Rina

『楽遊学』がついに300号を迎えました。おめでとうございます。

筆者は「わがまち港北」の連載で、第46号から第277号まで足かけ20年係わりましたので、感慨も一入です。

現在の『楽遊学』は、港北区区民活動支援センター（以下は支援センターと略記）の「港北区の「活動」をつなぐ」情報誌として隔月で刊行されています。第1号は1995年4月の刊行で、港北区生涯学習支援センターの月刊情報紙『楽・遊・学』でした。最初のタイトルや形式は、元新聞記者で区民の方のご協力を得て決めたと聞いた事があります。

今とは発行者もタイトルも微妙に違っていますね。27年間の変遷については、2020年12月発行の『楽遊学 25周年記念号』と、「わがまち港北」第122回「いつまでも楽しく遊びながら」（『わがまち港北 2』所収）をお読みください。

筆者が連載を始めた頃は、区内の魅力を紹介するような団体が少なかったようですし、各団体の活動もバラバラだったように思います。支援センターの継続的な活動と『楽遊学』の発

行を通して、区民の方々は様々な活動団体があることを知り参加しやすくなりましたし、多くの団体が交流を持つようになりました。支援センターの母体である地域振興課が開催している生涯学級からは、港北ボランティアガイドの会、港北昔ばなし紙芝居の会「たまたばこ」など新たな団体も巣立っています。

『楽遊学(らくゆうがく)』とは珍しいタイトルですから、すんなり読めた人は少ないでしょう。よく間違えられますが、一度覚えたら忘れられません。先日、佐賀県神崎市へ行きました。横浜市大倉山記念館の施主大倉邦彦の生地です。神崎市には遊学館という施設がありました。楽遊学の「楽」を取った名前と覚えました。

楽遊学とは、「楽しく、遊びながら、学びましょう」というメッセージを縮めたものです。生涯学習も区民活動も、自分自身が楽しみながら、そして遊び心や好奇心を持ってというのが長続きの秘訣でしょう。

支援センターは区役所の何でも屋さんです。経験豊富な職員とまちの先生たちが、私たち区民の心を豊かに、体を健やかに、区内での生活を充実させるための情報提供をサポートしてくださるところです。ガンガン使って、楽しい区民生活をしましょう。平井は使い倒されていますが。(笑)



わがまち港北1・2・3表紙

シリーズ「わがまち港北」再開します！

シリーズ「わがまち港北」は、本誌第278号より「わがまち港北スポット」に引き継がれましたが、この度、大倉精神文化研究所理事長平井誠二さんから



バトンを受け継ぎ、同研究所図書館運営部長林宏美さん執筆によるシリーズ「わがまち港北」として再開することになりました。不定期連載ですが、今後は林さんの目線で地域の歴史・文化・気になる情報などを発信していただきます。どうぞご期待ください！



林宏美さんと平井誠二さん

遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2022(令和4)年6月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

港北ボランティアガイドの会「里山ガーデン秋のフェスタ散策」

日時:10月1日(土) 集合 9:30~9:50 JR中山駅橋上改札口
定員:80名(応募者多数の場合は抽選)
参加費:大人500円、子ども100円(保険料含)
申込:HPの**応募フォーム**または**往復はがき**「里山ガーデン」、
〒住所、氏名、電話、参加者全員の氏名フリガナ、年齢を
記入の上、区民活動支援センターへ ※9月20日(火)必着
問合せ:港北ボランティアガイドの会 <https://kouhokuvg.yokohama/>



応募フォーム

港北図書館友の会「読書サロン」

① 8月28日(日) 図鑑の面白さ「私の好きな図鑑」
② 9月25日(日) 「カフェの文学物語」
時間:各回13:30~16:30 参加費:無料
会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ
問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①9月17日(土) 新羽(約5キロ) 市営地下鉄新羽駅集合
②10月8日(土) 鉄道開通と港(約4キロ) JR桜木町駅南改札集合
③10月22日(土) 三会寺(約4.5キロ) JR横浜線小机駅集合
集合8:30~9:00 解散 12:00~12:30 定員:約100名
(応募者多数の場合は抽選)参加費:各回500円(保険料含)
申込:HPの**応募フォーム**または**往復はがき**に(開催日・コース名
〒住所・氏名・電話・参加者全員の氏名)を記入の上、
〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11
すぺーすろっかく内「NPO法人 神奈川区いまむかしガイドの会」※各コース開催日の15日前必着
問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001



応募フォーム

港北童謡の会

① 8月23日(火) 竹内雅拳先生
② 9月20日(火) 飯田千夏先生
時間:各回14:00~16:00 会場:港北公会堂
参加費:900円/回 事前申込不要 当日直接会場へ
問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491



『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集

横浜日仏友好会

1987年発足以来、フランス語圏の方々との交流や、イベント、ボランティア活動を通して日仏文化の総理解の場を提供してきました。フランス語、フランス文化が好きな方、一緒に楽しく活動して下さる方ならどなたでも結構です。年会費2,000円
大倉山木曜フランス語講座も実施中。詳細はお問合せください。
問合せ:杉山Tel/Fax 045-784-3250 笠原keikasahar@yahoo.co.jp

次号は301号(2022年10月発行号)です

「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」の締切は**8月26日(金)**です。概ね10月10日~12月10日迄のイベント情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで。

区民活動支援センターからのお知らせ

花と木のウォーキングツアー参加者募集中!

第2回 新羽周辺初秋の寺社巡り(行程:約5.7km健脚向け)

夏の暑さを忘れ、新羽地域の丘陵・田園風景のなかを歩き、神社・仏閣を巡ります。西方寺では色とりどりの彼岸花が迎えてくれるでしょう。

実施日:9月16日(金) 集合時間:午前9時30分 集合場所:地下鉄北新横浜駅エスポort前広場(駅改札口に案内が立ちます)参加費:500円(保険料等) 募集人数:50人(応募多数の場合は抽選) 応募方法: **応募フォーム**または**往復はがき**に①ツアー名「花と木2」②〒住所・氏名(フリガナ)、複数人の場合は全員の氏名(フリガナ)・年齢・電話番号③返信用に住所・氏名を記入のうえ区民活動支援センターへ **応募締切**:8月25日(木)消印有効



← 応募フォームはこちらから



西方寺の彼岸花

ご意見ご感想をお寄せください

いつも「楽遊学」をご覧いただきありがとうございます。内容についてのご意見・ご感想、お気づきの点など、支援センターまでお寄せください。

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1
TEL&FAX 540-2246
Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★

月~金曜 8時45分~17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

港北区区民活動支援センター

検索

